

平成25年度公益財団法人埼玉県体育協会定時評議員会議事録

日時 平成25年5月30日(木)午後2時30分から3時40分まで

場所 さいたま市・ラフレさいたま4階櫓の間

議事次第及び資料 別添一式のとおり

出席者 森副会長、桜井副会長、三戸副会長、北副会長

評議員 牛久保、小原、笠原、坂口、真貝、遠山、中田、廣川、武藤
以上9人

理事 岡野、小林、鈴木、田巻、豊田、原島、藤井、藤沼、松岡、
宮内、宮下、茂木、油井 以上13人

監事 関口、高田、堀口

陪席 佐藤スポーツ振興課長

柳川典昭スポーツ振興副課長

杉山剛士学校体育協会会長

事務局 岩崎、栗原、岡田

以上(敬称略)

岩崎事務局長 ただいまから平成25年度公益財団法人埼玉県体育協会定時評議員会を開会いたします。

開会に当たりまして評議員定数のご報告でございます。評議員定数14名中9名の出席ですので、定款第18条により、過半数出席で本評議員会は成立いたしました。

それでは、公益財団法人埼玉県体育協会代表理事・会長上田清司が所用のため欠席でありますので、代わりまして、本会代表理事の桜井勝利副会長が、開会のご挨拶申し上げます。

桜井代表理事 みなさんこんにちは。ただいま進行からご案内のとおり、上田会長所用のため、出席できませんので、僭越ながら、ご挨拶申し上げます。

本日は大変、足元の悪い中、平成25年度定時評議員会にご出席いただきありがとうございます。心から、感謝申し上げます。

本日は、ご案内のとおり、平成24年度の事業報告と決算ということで、昨年4月1日に、公益財団法人として協会はスタートしまして、無事、多くの成果を収めながら、平成24年度の諸事業を執行してまいりました。これも、評議員の皆様、理事、執行部の皆様のご努力いただいた結果と感謝申し上げます。

ご承知のとおり、私ども体育協会は、生涯スポーツの振興、いわゆる子供から高齢者にわたり、みんながスポーツに参加して、元気な埼玉づ

くりに貢献しようということですのですめてまいりました。

また、競技力向上につきましても、この4月に県のスポーツ推進計画が策定され、向こう5年間の計画が進行しつつありますが、国内はもとより国際的にも、トップアスリートとして、県民の代表として、世界に羽ばたいてほしい、その中で、昨年の第30回オリンピックで、県ゆかりの選手11人がメダルを獲得し、夢や元気、勇気を与えてくれた、大変うれしいことです。また国民体育大会においても、昨年度の第67回岐阜清流国体において、堂々、男女とも天皇杯4位を獲得し、埼玉本来の力を発揮、一昨年の山口国体では不本意な8位でしたから大変すばらしい、成果を上げていただいたのも、加盟団体の皆さんのお力のおかげと思います。

今年はいよいよ隣の東京が会場です、ぜひ3位以内、できれば天皇杯男女総合で第2位を確保したいということが私どもの考え方であり、目標であります。皆様にも本会の活動に、進むべき私どもの方向性についてご指導をお願いします。

終わりに、本会議に大変お世話になっておりますスポーツ振興課から佐藤裕之課長さんのご出席もいただき遅ればせながら、御礼申し上げます。ごあいさついたします。

事務局長

続きまして、今回ご来賓として埼玉県教育委員会から、教育局市町村支援部スポーツ振興課佐藤裕之課長においでいただいております。ここでご挨拶をいただきたいと存じます。

佐藤課長

こんにちわ。スポーツ振興課の佐藤でございます。本日は、お招きいただきお礼申し上げます。また、桜井副会長様はじめ埼玉県体育協会の皆さんには、日頃より、本県スポーツ振興のため格別のご尽力いただいていること厚くお礼申し上げます。

いま、お話にありましたように、昨年度、国体では、天皇杯第4位と大いに挽回できたのかと思います。今年度は、お話にも出ていましたが、2とか3を狙い、さらに躍進できればよいのかと思います。

さて、先ほど、ご紹介いただきましたが、本県では、スポーツ推進計画がスタートさせていただいたところでございます。国体、競技力はもとより、生涯スポーツなどいろんな事業を展開しまして、スポーツを通じた元気な埼玉づくりを取り組もうとしているところです。そのために、体育協会の皆様と手を携えていかなければと思っております。

さて、今年度のスポーツ界ですが、廣川評議員さんともお話ししたのですが、浦和学院の45年ぶりに甲子園優勝、サッカーでは、レッズ、アルディージャが非常に好調で、西武ライオンズは最近やや減速気味ですが、

好位置につけ、わが県庁の星、川内選手もモスクワの世界陸上へ出場が決まりまして、例年の大会に加えて、全日本の実業団陸上大会、あるいは、さいたま市内で開催されますツールドフランス関連大会、暮れには、フィギアスケートの全国世界選手権などスポーツイベントが立て続けに開催される予定です。推進計画の始まりにふさわしいイベントが目白押しでございます、さらに来年の9月には、競技志向の強い35歳以上のシニア世代対象の日本スポーツマスターズ2014埼玉大会が開催される予定であります。この25日には、上田知事を委員長に実行委員会も発足しまして、事務局もスポーツ振興課内に設置しました。来年の開催に向け、体育協会さんと協力して進めて参りたいと思います。

本県スポーツの推進のために体育協会さんと会い携えて、取り組んでいきたいと思っております。結びに体育協会のますますのご発展、ご参会の皆様はじめ関係の皆様のご健勝を記念しましてごあいさついたします。

岩崎事務局長

ありがとうございました。

それでは、次第に乗っ取りまして、協議事項第1号議案、議長の選出に入る前に、それまでの仮議長について、代表理事桜井副会長にお願いします。

それでは、第1号議案について審議をお願いします。

桜井仮議長

議案の前に仮議長として、暫時、お許しいただいて勤めます。

定款15条3項において、議長は、本日、評議員会に出席した評議員の互選ということになっておりますので、皆様から提案があればお願いします。選出についてどのようにしたらよいかお諮りします。

坂口評議員

小原さんを推薦します。

桜井仮議長

ただいま、坂口評議員様から、小原評議員様を推薦いただきましたが、お諮りします。

小原敏彦評議員様を議長として承認いただくことにご異議ございませんか。

それでは異議なしと認め、小原様に議長をお勤めいただくことに決しました。

それでは、小原様、議長席へどうぞよろしくをお願いします。

小原議長

ただいまご推薦いただいた小原ともうします。

力不足ではありますが一生懸命務めさせていただきます。

よろしくご協力のほどお願いします。

それでは、議事進行させていただきます。

これより協議事項第2号議案 議事録署名人ですが、定款19条の2により、評議員の皆様から2名推薦いただくところですが、ご意見ござい

ますか。

議長一任でよろしいか。異議なし

僭越ながら、ご指名申し上げます。

それでは、評議員より、遠山様、理事から宮下様お願いします。

それでは、続きまして、第3号議案「平成24年度事業報告」を議題とします。ご説明をお願いします。

三戸専務理事

それでは、私から24年度の実業報告させていただきます。なお、決算については、栗原総務課長から説明申し上げます。お手元の24年度の実業報告案をご覧ください。

1ページ目からかいつまんで説明いたします。

基本方針の下、24年度も、競技力向上、生涯スポーツ振興の2本だてで事業を進めてまいりました。

ローマ数字1の生涯スポーツ振興事業ですが、算用数字の1から11まで順次説明いたします。

まず、総合型スポーツクラブの育成推進、支援業務事業では、特に(1)にありますように、設立支援というところで、結果としまして様々な啓発活動を行いながら参考にありますように新たに13の総合型クラブが設立できたというところです。2ページの下段にあります参考のとおり、今の13クラブを加えて、85のクラブが設立活動しております。

(3)の埼玉県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会の支援ですが、

5月25日には、連絡協議会の総会をもちまして、会費を徴収して、自分たちの活動、事業を進めてまいるということで、自立に向けて歩き出したというところです。

3の生涯スポーツ・相談業務の受託はスポーツ研修センターでの事業を県から受託したもので、様々な事業がありますが、そこに記載のとおり、事業を進めて、大変多くの参加者を得ております。

4の生涯スポーツ地域振興助成事業は、21事業に助成したところです。

5市町村体育協会連絡会議ですが、東西南北4か所で、市町村との意見交換を行い、お互い有意義な会議でありました。

その下、6公認スポーツ指導者養成講習会は、私どもができる部分と中央競技団体や日本体育協会ができるもの、各々、講習会をこのような形で実施しております。参考に掲げましたが、埼玉県の登録者数は、8,926名であります。

4ページの7例年通り県民総合体育大会は、25か所520の大会で、参加者総数は、414,274名とたいへん大規模な大会になっております。

また、駅伝につきましては、今回コースを変更しまして、久しぶりに、旧中山道のコースを取り、さいたま新都心から熊谷スポーツ文化公園までで、実施しました。成績はそこにある通りです。今までの寄居町には御苦労おかけしました。

それから9のスポーツ活動の支援事業ですが、特に秩父宮杯自転車競走の支援は、年々競技志向の選手が多く集まって追って、あまり規模が大きくなると、駅伝もそうですが、道路目いっぱい使うなどある程度規制しなければならないところであります。

11の顕彰事業ですが、埼玉県体育賞受賞者が、691名、となりました。とりわけ、オリンピックイヤーということで、エの会長特別賞について、メダルを獲得した選手で、正式のエントリーメンバーであれば、会長特別賞を差し上げました。また、冒頭の県庁期待の星川内優輝選手についても表彰しました。

そのほか、7ページは、2,127名の体育優良児童生徒の表彰、また、文部科学大臣の生涯スポーツ功労者表彰も、4人の方めでたく表彰されました。

続きまして、ローマ数字の 競技力向上事業ですが、1から14まで記載した通りです。

1の国民体育大会については、冒頭のあいさつにありましたので省略しますが、(5)にありますように、競技別天皇杯獲得3団体、皇后杯を獲得した2団体、あわせて競技団体5団体が大変、御健闘いただいて、成果が総合成績に反映したものと思います。特に、水泳は45年ぶりの獲得で、立派な成果を上げていただきました。

8ページの第1期強化訓練事業から、ずっと記載した種々の事業を展開しながら、選手が安心して競技に臨む環境づくりに大いに貢献し、最終的な成果に結び付けられればというところがございます。細かくは申し上げませんが、かように実施しました。

8ページ下段のジュニア育成事業については、特に彩の国ジュニアアスリートアカデミーは、36競技2,977名を対象に継続的に実施してまいりました。

また、9ページに入りまして、「タレント発掘事業」ですが、お手元に資料として、今年の募集パンフレットがありますが、プラチナキッズ発掘事業として、応募者総数784名を選考して、この中から、4年生30人認定したのですが、その後、1人、どうしても今やっているスポーツに二股かけられないということで、辞退しました。4年生29人、合わせて89人が頑張っているところであります。

体験教室や育成プログラムにありますように、JOC、スポーツ振興センターなどの協力で、トレーニングセンターなどで、超一流の指導者で優れたトレーニングを受けております。

10 ページの選手強化コーチ研修会や必勝対策会議など開催し、競技力の向上のため、指導者を対象としています。

11 ページの13のスポーツ指導者研修会は、全ての埼玉県スポーツ指導者を対象として、実施しております。指導者対象の研修会は大きくこの2つです。このほか、サミット研修会など実施したところです。また、競技団体長・支援企業等協議会は、私ども、スポーツのサポーターを増やす意味で競技団体と企業とが、同じ場で話し合い、懇親を深める良い機会でした。

14の国際競技派遣事業も、そこにあるように経費補助を行った。

12 ページの のスポーツ少年団事業については、18ページ上段までです。

そこにありますように、引き続いて、団数が全国第2位、指導者数が第1位、団員数が同じく1位ですが、若干微減で団員数が児童数全体の減少に合わせて減っていますが、指導者は増えています。

12 ページについては、スポーツ少年団の大会のうち、種目別大会を13大会実施しました。14ページ、第38回の日独交流については、前年度から、東日本大震災及び福島原発事故のためドイツの訪問団が来ないことから中止となりましたが、24年度は実施できました。

東松山市に引き受けていただきました。

少年団関係の指導者養成研修については、4から15ページの5まで実施いたしました。さらに国内交流大会は、(1)から(6)まで全国及び関東など記載のとおり参加しました。

8 創立50周年記念事業といたしましては、記念式典、記念誌の発行、記念表彰を行いました。式典では、今もっとも有名な佐々木則夫氏に講演いただき、内容の整った講演いただきました。

17 ページの9につきましては東日本大震災復興記念スポーツ交流事業として、福島県のスポーツ少年団の子供たちを招き、本センターに宿泊をして、2泊3日の様々な交流を行いました。初日は、2日目はプール、3日目は、鉄道博物館、子供ですので、すぐ仲良くなって、大いに交流でき、後日、福島からお礼の手紙をいただきました。

なお、先ほどの全国剣道交流大会ですが、27年3月実施予定です。

スポーツ少年団関係の県内の表彰と日本スポーツ少年団の関係表彰はこのとおりでございます。

18・19 ページのスポーツ科学研究事業は、まず、アンチドーピング教育啓発事業、国体選手の健康管理についてチェックし、アドバイスする事業などを実施しているところであり、記載のとおりさまざまな機会を実施しました。

20 ページのスポーツ総合センター運営事業ですが、150,325 名の利用と増えております。隣の武道館も 17 万員の利用者がおり、合わせて 32 万人これは直接の利用者ですから、その他の入館者を見ればかなりの数の利用があるといえます。

県体育協会の運営としましては、諸会議、評議員会 2 回、理事会 6 回、その他各種委員会を実施したところです。

22 ページ中段からは、スポーツ少年団関係の会議です。

23 ページの広報普及活動につきましては、(1)から(6)までですが、スポーツ埼玉の発行や特に、総合センターの壁面に懸垂幕を設置しまして、様々なPR、とりわけ、今年は、オリンピック関係の選手、メダリストのお名前を掲示し、タイムリーな掲示を進めた。

24 ページ、下段の自主財源の確保ですが、昨年度から進めております賛助会員制度の実績、昨年度は、記載のとおりですが、本年度の分も加えて、現在、個人 70 人、46 団体に、金額が、201 万円となっております。こののち、使い道としては、ジュニア育成関係の事業に使えるよう計画しております。

24 ページの県立武道館の指定管理については、24 年度で、最初の 5 年間で終了し、サイオーと共同で、またこれから 5 年間、共同事業体で指定管理を行う状況でございます。5 年間ふりかえりますと、桜井代表理事、館長のご努力により、赤字も出すことなく、所期の目標を達成、評価もすべて良好な評価をいただいております。ある意味、体育協会がやるからこそここまでできるのかなと思います。引き続き、努力してまいります。

武道館主催事業は、(1)の体協・武道館祭りを今後、スポーツフェアとして、この一帯全体を祭で盛り上げたいと思っております。ほかに、特に、オリンピックメダリストの直接中高生に指導する好評の講演会があります。

最後に、大宮公園の飛行塔の運営、4 万人の利用、金額は、本当に少ないですが唯一の収益事業で後程、決算で説明いたします。

ありがとうございました。三戸専務理事にご報告いただきました。引き続き、決算報告をいただいた後、質疑を受けたいと思います。

栗原総務課長さんお願いします。

議長

栗原総務課長

それでは、ご説明申し上げます。お手元に貸借対照表、参考資料の 1, 2, 3 あります。

まず、初めに、貸借対照表について、ご説明します。平成 24 年度の大きな特徴としまして、流動資産のうち、貸付金の減少、什器備品の減少を計上しました。貸付金と短期借入金とは、相互関係にあります。23 年度は、旧体協の会計ですので、700 万円ほど残してあります。24 年度は、公益会計として、はじまりました総合センターの運営管理の資金を期首の公益会計では 0 で始まっておりますので、700 万円ほど、用意しました。流動負債の短期借入金との内部取引での移動となっております。他の団体からの借り入れなどのお金の実際のやり取りはありません。

什器備品とは、277 万 5 千 386 円減少は、大宮公園の飛行塔の減価償却であります。後程説明します。

しめまして、当年度の正味財産が、1 億 9 千 789 万 8,788 円となり、前年と比べまして、1,889,897 円の減少と計上されます。

次のページ、貸借対照表内訳表です。こちらについては、平成 24 年度中の目的別の内訳になっております。公益目的、収益目的、法人会計、内部取引消去となっております。

本会の収益事業が、先ほどお話ありました大宮公園の飛行塔という少し変わった収益事業、これの修繕のために 1,500 万円積み立て、減価償却の結果、2,439,491 円の価値になっております。先ほどの貸し付け、借入の関係について、ご指導により、内部の貸借も内部取引勘定の項で、計上し、相殺する形で、合計 0 にしてあります。

2 枚先ですが、正味財産増減計算書です。その次の平成 24 年度中の内訳書には、公 1、生涯スポーツ事業・公 2 競技力向上事業、公 3 スポーツ少年団事業・公 4 スポーツ総合センター管理運営事業となっております。細かい資料につきましても、後程、参考 1, 2 で説明します。

めくっていただき、財務諸表に関する注記のうち、14 ですが、関連当事者との取引内容とは、先般 5 月 9 日付でぶしつけで申し訳ございませんでしたが、確認として、欠格事項に該当しない旨確認書、公益財団法人兼任届などご照会させていただきました。それに関して、公益法人の事業報告書の最後、付属明細書があります。6 月 9 日にお願いしました結果を整理し、団体の業務執行理事など重要な兼職の状況をお示しました。

それでは、先ほどの貸借対照表に戻りまして、終わりの方、財産目録で説明いたしますのは、下から 5 番目前払金です。年度当初 4 月 1

日に保険を有効にするために、加盟団体、市町村体協に入っていた
く施設賠償保険で、先に支払って、置くためのものです。

2,412,960 円、その下、263,180 円は、おなじくスポーツ総合センタ
ー事業に充てる保険の前払い資金として出しました。

正味財産計算書を求めるためにどういうことをやったかという説明
をします。参考 1 ですが、県費をどのように使ったかを表現します。
公益 1 です。たとえば、経常費の消耗品費ですが、993 万円予算のと
ころ、16,205,687 円決算となりましたが、これは、基盤整備事業として、
加盟団体の長にパソコンを配布した基盤整備事業です。 昨年行いま
した基盤整備事業、旧体協では、引当金は、退職金のみが対象で、一
見赤字に見えますが、180 万円を修繕費に繰入。下の小さな枠は、県費
補助金簿分類表です。

公益 2 では、競技力向上の収支です。各種補助事業は、下から 3 番目、
支払助成金です。83%に配布しました。同じく、下のわきは、県費
補助金の内訳です。

その次は、スポーツ少年団の補助金計算書です。先ほどのお話にもあ
りましたように、日本一の団数を誇りまして、登録料も、
47,310,000 円となっております。

諸謝金の支出増は、50 周年記念の講演会で、佐々木監督のご講演に
よる支出増です。また、最後の、次期繰り越して、627 万円決算で
出しておりますのは、先ほど専務からお話のあったスポーツ少年団剣
道交流大会の再来年 3 月本県開催の準備金として計上したものです。

下の県費の枠のうち、表彰日は、50 周年事業の祝賀会分で、3,483,575
円計上したものです。

公益 4 のスポーツ総合センター施設利用料金決算で、469 万円ほど増加
は、利用者の拡大、宿泊者の増、入居団体の賃借料その他であります。
支出については、光熱費で、若干増加、委託費は、サイオーの管理保
守点検、窓口業務を委託している分です。約 5 千万円になります。

引き続き、収益事業では、大宮公園の飛行塔ですが、受取入場料額が、
1,776,330 円、経常費用のうち、賃借料が 300,132 円、減価償却費が、
1,255,593 円現在 240 万円ほどの財産ですから、140 万円ほどの収益と
なります。

最後に、参考 3 ですが、公益財団に関しては、収益事業から生じた利
益の 50%を繰入しなければならない、収益費用に按分される管理費と
しては、計算式により、10 万円ほどになります。

もう一つ、2 枚目の表、収支相償の原則があり、これを検証した計

算書です。公1、公2、公3、公4、全て、赤字になっております、これに共通会計、収益事業の按分される管理費を計上して、結果、1,978,645円の赤字となり、おおむね収支相償を達成し、剰余金はないということになります。

以上、ご説明申し上げます。

議長 ありがとうございます。それでは、第3号議案、第4号議案の説明が終わったわけですが、ここで、関口監事さんより、監査報告をお願いします。24年度の事業報告事業決算については、公益では、監事の専管事項ですから、5月18日に実施されております。この際、監査報告を関口監事からお願いします。

関口監事 すでに提出しておりますが、監査報告書読み上げさせていただきます。
監査報告書

平成25年4月30日

公益財団法人埼玉県体育協会会長上田清司様

「私たちは、平成25年4月30日、スポーツ総合センター会議室に置いて、定款第25条に基づいて、公益財団法人埼玉県体育協会の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの平成24年度業務及び会計状況について、貸借対照表及び正味財産増減計算書などにより監査をした結果、適正に執行されているものと認めます。」

以上、監査報告とさせていただきます。

議長 第3号議案、第4号議案について、及び監査報告について以上3件についてご意見、ご質問お諮りします。

議長 大変長文にわたる資料ですが、事前にお読みいただいているところですので、ご了承いただけますでしょうか。

(拍手)

議長 それでは、第3号議案平成24年度の事業報告と、第4号議案平成24年度の決算報告が可決しました。

議長 続きまして、第5号議案 資産の管理についてお諮りします。では、説明をお願いします。

三戸専務理事 それでは、お手元の5号議案の資料ご覧ください。

そこにありますように、参考にあるように、国債1本、県みらい債が4本、定期預金が5本となって合計1億円を基本財産としております。定款6条の定め、細則の第4条にありますように、管理の方法が明記されております。その中で、彩の国みらい債の平成20年度購入の1千万円が6月11日で満期を迎える旨、幹事社の日興証券から連絡があり、このために臨時に評議員会を開くのも大変なので、どうするか諮った

ところ、日興証券では、5月30日までの販売期間で新たなみらい債の発売があり、このまま、買い替えるということにしたい。幹事社の方でも、資金も6月11日の償還と引き換えができるということで、お願いしたいというものでご提案申し上げます。

議長

資産の管理について説明終わりました。

本議案について、ご異議ございませんか。

それではご承認いただけますか。ご異議なしとして提案のとおり可決します。

引き続き、第6号議案理事の選任について、を議題とします。

専務理事

お手元の6号議案について説明します。これにつきましては、4月1日の定期人事異動により、組織から選んでいただいた現在の理事が新たな職に就くに伴い、理事の辞任届が出ました。この4名について、29人中の4名補充がないと25名だけでは、定数上も問題なので、お願いするものです。

細則36条の3別表から、過日28日の、加盟団体協議会でそれぞれ理事推薦会議を開き、推薦母体から、選出された方が2名です。

相坂賢将氏 埼玉県高等学校体育連盟理事長として期待される方、また、石田明男氏、草加市立谷塚中学校長で、中学校体育連盟会長。この2名を選出しました。

さらに、細則第20条指定組織選出理事として、スポーツ振興課副課長の柳川典昭氏が推薦されました。

さらに先ほどの役職理事選考委員会で、理事会により選ばれました杉山剛士氏。浦和高校長で、県学校体育協会会長であります。

個別に資料がありますので、個別にご審議ご承認いただきたいと思います。(各4名につき、履歴紹介)

議長

それでは、理事の選任について三戸専務理事からお話が合ったように、一人一人お諮り、議決を受けることとなりますので、異議がある場合は、その都度お願いします。

- | | |
|-----------------|------|
| 1 相坂賢将氏(細則36条) | 異議なし |
| 2 石田明男氏(同じく) | 異議なし |
| 3 柳川典昭氏(細則20条) | 異議なし |
| 4 杉山剛士氏(役職理事候補) | 異議なし |

ありがとうございました。原案のとおりご異議なしとします。

次に、最後の第7号議案 評議員選定委員会委員の議案についてですが、ご説明願います。

三戸副会長

7号議案の表をご覧ください。2月に逝去された熊谷市体育協会の吉

田威司氏、4月に辞任されたさいたま市体育協会事務局長の齋藤一男氏、この2名の欠員を補充し、長期4年、欠員のままにしておくことが不適切ということで、補充し、任期の残任期間をお勤めいただくことでお願いします。その中で、細則の定めに従い、評議員の選出には、評議員を選出するための委員会を構成していただくことになり、その委員を選んでいただきます。

その手続きとして、表に在りますように、外部委員は、井上良江氏、渡辺誠吾氏をあらかじめ選ばせていただき、現監事から、堀口氏を選ばせていただきました。今日の評議員のなかから、2名選任していただく協議をお願いします。

選出にあたって、区分は問わないが、競技団体の代表、市町村体協の代表というようなこれに準じた方法でお考え願いたい。

議長 いかがでしょうか。

(個別協議)

議長 それでは、上尾体協の遠山様、卓球協会の坂口様、2名ということで、よろしいですか。よろしくをお願いします。

議長 このあと、報告事項をお願いします。一括をお願いします。

三戸専務理事 私のほうから、報告いたします。

定款細則の改正ですが、1年間やってきて、欠けている部分とか、新たに顕彰規程など造りましたので、お示しするものです。一部改正は、スポーツ総合センター管理規則につきましては、トレーニング場の100円から200円に挙げ、宿泊棟も桐翌改定し、スポーツ振興課と協議して認めていただいたもの、また、県条例改正で65歳以上有料化に合わせたものです。

また、業務執行理事の執行状況を報告するようになっているものを、お知らせしないままでは大変失礼になるので、理事の通信簿をお示しするものです。

なお、理事会関係の報告は、資料のとおりです。

次の4については、業務執行状況についてですが、規程によりますと、4月に1回の割で理事会に報告ということでしたので、報告させていただきます。

以上で報告終わります。

議長 以上で、まとめてお話しいただきましたが、何かご質疑あれば伺いますが。よろしいですか。平成25年度定時評議員会の議事すべて終了いたしました。ご協力ありがとうございました。

三戸専務理事 ここで、お手元に、プラチナキッズの募集案内ありますが、1,062人

の応募がありまして、6月2日、8日選考会を行い、30名選考いたします。

議長

以上で議長の職を下させていただきます。

三戸専務理事

新理事さんに自己紹介願います。

柳川理事

スポーツ振興課の副課長柳川です。よろしくお願いします。

杉山理事

学体協会長、浦和高校長の杉山です。学体協の代表ということでよろしくお願いします。

事務局長

以上で評議員会を終了いたします。

後、理事の皆様にはこの後臨時理事会が再開されます。